



# 東京金山会通信 No.75



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

## 東京金山会第66回総会・「ふるさとを語る集い」開催

6月15日、アートホテル日暮里ラングウッド(東京都)で東京金山会第66回総会・「ふるさとを語る集い」を開催しました。佐藤町長をはじめ、多くの町関係者やご来賓の方々にご出席いただき、盛大に開催することが出来ました。ご出席いただいた全ての皆様へ感謝申し上げますとともに、来年度の開催をより良いものとするために、役員一同取り組んでまいります。



①多田さんご夫妻はギター演奏とともに、「みずぎ荘のうた」「みずぎ荘音頭」を披露。優しい歌声を届けてくれました。②國分さえ子さん(リリィさん)は、三線とカホンの音色にのせて、優しい歌声を届けてくれました。③永山茂樹さんのステージ。新曲「のんべい流し」、望郷の想いのつまった「金山小唄」を披露いただきました。④会場内の様子、観光庁長官賞受賞の100周年記念映像「金山の道・百年の光」も上映されました。⑤懇親会では、久しぶりの再会を喜び笑顔があふれていました。⑥販売ブースも大にぎわい!地元ならではの品々が人気を集めていました。⑦東京金山会・高橋会長から「町のみなさまのお役に立てるように、取り組んでゆきたい」とあいさつ。

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail: fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

## 森の子ども図書

No.234



ねこのはなびや  
作: 渡辺有一

今夜は花火大会。ねこの花火屋たちが、しろねこぐみ・くろねこぐみ・とらねこぐみに分かれて競い合うお話。色鮮やかで、花火大会に行きたくくなるような、夏を感じられる絵本。ページが大きく開くところがあるので、大迫力の花火をどうぞお楽しみください! だんだん花火の大きな音が聞こえてくるような気がしますよ。さて、みなさんはなに組が優勝すると思いますか。

### 交流サロンぽすと

月~金 12時30分~17時まで  
※祝・盆・正月は休み



◀今月は6冊!▶

アパートたまゆら(砂村かいり) / ありか(瀬尾まいこ) / パズルと天気(伊坂幸太郎)  
亡霊の鳥(阿部智里) / ミルクの本(ミルクマイスター高砂) / はぶらしロケット(木下ゆーき)

※( )内作者名

## 図書室だより

ありか

瀬尾まいこ / 水鈴社



母親との関係に悩みながら、ひとり娘を愛情いっぱい育てるシングルマザー美空の1年間の物語。「子育てをしながら自分が受けた恩を思い知って、親に感謝していくのだ」と思っていた。それが親になった途端、さっぱりわからなくなった。この日々のどこに恩を感じさせるべきであるのだろうか。(本文より)

はぶらしロケット

木下ゆーき / Gakken



子育てインフルエンサー・木下ゆーきさんの絵本が創刊! テーマは歯磨き。「3、2、1! はぶらしロケットはつしやー!」空高く上がるが到着するのはほっぺやお腹。ようやく口の中に入ったと思ったら口の中にはバイキンがいっぱい? さあ、どうする? 歯磨きの大変さが軽減されるかもしれない魔法の絵本です。

【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時~17時

## 観光資源がつなぐ人の輪



◀日々の活動の様子は Instagram で発信中です

金山町 地域おこし協力隊

地域おこし協力隊 大友 淳

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の大友淳です。金山町で地域おこし協力隊として活動を始めて2年目。私の活動拠点は、神室山のふもとに広がるグリーンバレー神室一帯です。豊かな自然に囲まれたこの地で、体験型観光を通じ、地域の魅力発信に取り組みんでいます。昨秋には協力隊の先導である池田さんが管理釣り場カムロフィッシュヤーマンズロッジをオープンし、清流を活かした管理釣り場では、ニジマスを中心としたルアー・フライフィッシングが楽しめ、初心者からベテランまで幅広く人気を集めています。県外から訪れる釣り人も増え、リピーターも少しずつ定着。自然の中での釣り体験を通して、金山町を「好きになつてくれる人」が増えていることを実感しています。また、今年7月からSUPの体験会も協力隊の活動として実施予定。静かな水面の上で自然と一体になれる感覚は、日常のストレスを忘れさせてくれます。こうしたアクティビティは観光だけでなく、地域の人と外から来た人が交流するきっかけになれば良いと思います。

私たちが目指しているのは、交流人口や関係人口の拡大。訪れた人が「また来たい」「ここに関わり続けたい」と思ってくれる関係性を築くことが、地域の未来にとって何より大切だと感じています。自然の魅力と人の温かさにつながることで、この町に小さな「関わりしろ」を見つけてくれる人が増えるよう、これからも一歩一歩、活動を続けていきます。

▶ 沢山の釣り人で賑わっているフィッシュヤーマンズロッジ



▶ 神室ダムでサップを楽しんでいる様子



## ぶんげい

### 金山杉俳句会報 第五〇〇回

時流る誌に載りし句に清風優し  
草餅のやさしき色に妣想ふ

阿部 一代

「木もれ日」誌五百号記念風薫る  
般若会を終えて握手のうわしかり

星川 キエ子

散る桜手の平に受け愛しめり  
犬ふぐり青き花つけ路地の傍

岸 昭子

五百回花の冊子や杉句会  
伐採林夢に萌えくる羊歯の群

高橋 洋子

五百回綴る冊子や松の芯  
参道の赤き鳥居や春惜しむ

鶴沼 よし子

蹲に来ては囁く春の鴉  
山国は無口に昏れて朧月

栗田 弥超

## かねやま紅風会

郷里も花々盛かる朝の市  
新緑や息吹く大地の蘇り  
芍薬の花々見とれる八十の夢

荒屋 阿部 勝子

芍薬を母の命日花添へし  
梅雨間近畑苗植込む朝仕事  
懐かしむ昔話に夏の夜

荒屋 関 喜美子

母の日や母が森へ送り花  
白牡丹花びら散らし地を染めし  
葉桜の隙間の空を映しけり

菅越 庄司 けみ子

朧月届きそよなる高きかな  
風を呑み目をむき泳ぐ鯉のぼり  
一陣の風に散り染む桜かな

七日町 青柳 キエ子

山藤の湖畔をめぐる舟の旅  
深緑り杖を頼りの角館  
武家屋敷青葉したたる観光地

上台 阿部 一步